

## 事業内容について

電源工事	電力引込、受変電設備、監視制御装置等で諸機能のエネルギー供給源の心臓部にあたる設備です。防災電源設備としては、自家発電設備、蓄電池設備などが利用されています。
監視制御設備	設備システムを集中的に制御、監視し、管理運営の省力化を図る設備で、コンピュータの利用はより省力、小脳化に有効です。大規模ビルにあたっては、中央管理室（防災センター）として法に定められています。
動力設備	空調、換気、揚水、消火栓ポンプ、昇降機等の電動機を必要とするものに、電力を供給する配線と監視、制御する設備です。
照明設備	白熱灯、蛍光灯、水銀灯、その他の光源による照明設備は快適な生活、作業の環境作りに欠かせないもので、近代建築では環境に合った適切な照明計画が望まれています。
電話設備	情報の双方伝達手段としてPBX（構内交換機）電話機及びフロアダクト、配線設備等があります。特に近年のデジタル技術を取り入れた通信システムは、豊富な情報伝送量を備え、情報、OA、FA機器との接続により機能拡張に大きく貢献し、情報化時代の必需設備となっています。
情報設備	拡声放送、BGM、インターホン、電気時計、TVラジオ共同視聴設備等に加え、情報化社会に対応した会議システム、双方向CATV設備等の情報設備により、ビルコミュニケーションの機能向上に重要な役割を果たしています。 また、最近では衛星放送、通信衛星設備も大いに利用されています。
信号設備	呼出信号、出退表示、ページング、非常信号、ナースコール、車路管制設備等で、管理の合理化を目的とした設備です。
防災設備	火災報知機、非常警報、非常電話、非常放送、誘導灯、非常照明、非常コンセント、防排煙防犯、ITV監視設備等で、人命の安全、財産の保護等で法に定められている設備です。
その他設備	1) 建築物の環境に合わせた設備避雷針、航空障害灯、フロアヒーティング設備等 2) 特殊電源、配置設備電子計算機用CVCF機器、医療用機器等の特殊電源設備、高度情報通信システムとしての光ファイバー、アンダーカーペット配線設備等があります。 3) 建物機も、用途に合わせた設備管理面でのビルオートメーションシステム、ビル群管理システム、ITV監視設備、用途面では、電子計算機システム、企業内情報ネットワークシステム、料金カードシステム、文書管理システム、ビルガイドシステム、投光照明、舞台照明等の設備があります。